



実際のところ

小笠原村って どんどこ？



✓ 6日に1便、片道24時間の定期船が唯一の交通路です

- 食料品などの生活物資も入荷は6日に1回ですが、慣れれば「それで当たり前」って感じです。AmaOon やヨド〇シなどネット通販もちゃんと届きます

✓ 物価はそこそこ高いです

- 本土のスーパーなどと比べたら高く感じますが、「定価販売」と思えばよし

✓ 商店は大体夕方6時には閉まります

- そのつもりでいればそんなに不自由感じませんよ

✓ 空き家、空き部屋はとても希少です

- 空いた物件はすぐに借り手、買い手がついてしまいます。でも職場がお部屋を確保しているところが多いです。村職員には職員住宅があります

✓ 医療機関は、村直営の診療所があります(父島と母島1か所ずつ)

- 村直営の診療所が、唯一の医療機関です。常勤医師の診察の他、年に数回、内地からの派遣医師による専門診療があります。(父島には民間の歯科医院も1件あります)

☺ 「Bonin Blue(ボニンブルー)」の海は世界のダイバーの憧れです

- ジャック・マイヨールもその独自性に打たれた、澄み切った深い青の海はダイビングだけではなく、ホエールウォッチング、ドルフィンスイムが盛んです。釣りもマグロをはじめとした大物狙いが楽しめます

☺ 家から3分でサンゴダストのビーチです

- 海洋島の父島、母島はサンゴダスト(サンゴのかけら)のビーチが多いです。集落そばのビーチでも海の中にはサンゴがいっぱい、生き物いっぱいです。お子さんとの海あそびも楽しいですよ

☺ アオウミガメの日本最大の繁殖地です

- 春から夏にかけて、毎晩のようにおかあさんガメがビーチに産卵にやってきます。村民にとってアオウミガメは大切な存在。みな優しく見守っています

☺ 世界自然遺産の独自の生態系の森と生活の場が隣りあわせです

- 父島、母島の広大な森が2011年にユネスコの世界自然遺産に登録されています。小笠原の生活は自然遺産と共にあり、住まいのそばにも天然記念物のアカガシラカラバトやオガサワラオオコウモリがやってきます

☺ ネット回線は本土と光ケーブルでつながっています

- 国内の光回線プロバイダと契約すれば快適ネット環境です。携帯キャリアも NTT Docomo、au、Softbank、楽天モバイルと全社提供エリア内です(キャリアにより通じにくい地域もあります)

島の1年間

- 1月 海開き
- 2月 森歩きに最適な気温
- 3月 別れの季節(卒業・転勤)
- 4月 出会いの季節(転勤)
- 5月 雨の多い時期・パッションフルーツ収穫最盛期5~6月・おが丸ドックで島は静か
- 6月 返還記念日(6月26日)・返還祭

2月上旬 寒緋桜

大村海岸



村の木: タコノキ

- 7月 海!海!海!ボニブルー!!!
- 8月 夏祭り・島レモン収穫時期
- 9月 運動会シーズン(子ども)
- 10月 ハロウィンで盛り上がる(子ども)
- 11月 秋祭り(神輿・相撲)
- 12月 ザトウクジラがやって来る
(~3月末頃までよく出会える)



小笠原に四季はあるの???

亜熱帯海洋性気候で夏(暑い時期)が長いです。5~10月は水着で海に入れるくらいの気温です(夏)。11月に短い秋、12~2月が涼しい冬(冬でも最低気温15℃くらいです)、3、4月が春...というイメージです。内地での春夏秋冬で1年中暮らせます。

気温の変化が内地に比べて乏しく、島に咲いている花も内地のような種類はない(桜や紫陽花、コスモス、銀杏...内地でよく見かける季節の花、植物はありません)ですが、島の花(春の訪れはビーデビーデ【デイゴの花】、夏が近づくとマダガスカルジャスミン)や島の行事で季節の移り変わりを感じています。

島でのあそび

なんといっても海遊び!!!
釣り、シュノーケリング、ダイビング、ドルフィンスイム、カヤック、サップ...たくさんあります。
静かな海岸でのんびりするだけでも気持ちいい。

他にも...大人のサークル活動盛んです!
スポーツ系も文化系もあります。

例えば⇒

サッカー、フットサル、バレー、バスケット、野球、卓球、ソフトボール、バドミントン、テニス、フラ、吹奏楽、太鼓、スティールパン etc.

製水海岸

